



「いわき民報ふるさと出版文化賞」に関する資料の探し方②

《第6回～第11回》

平成30年7月 発行(改訂版)

いわき民報ふるさと出版文化賞とは

いわき民報社主催。平成 18 年、いわき民報の創立 60 周年を記念して創設された。小説・詩・短歌・俳句・川柳などの文芸、調査・研究報告・記念誌などの記録、伝記・随筆・その他を対象に、市内在住者または市内に通勤・通学している人の出版物を顕彰し、いわきの文化の発展に寄与することを目的に実施している。

1. 図書

(1) 資料検索システムで調べる

書名・著者名・件名などにキーワードを入力して検索します。キーワードがあいまいな場合は、「～で始まる」(前方一致)、「～を含む」(中間一致)などの条件付けをうまく使いましょう。

◆平成 24 年度 (第 6 回)

【いわき民報掲載日:平成 25 年 3 月 29 日】

| | 受賞作品 | 内 容 | 分 類 |
|------|-------------------------------|---|-------------|
| 最優秀賞 | 『春告げ鳥』 (北郷光子//著) | 農業を営む著者の日常を詠った歌集。「三月一日 三重苦」「放射線量」など、東日本大震災の経験も詠いこまれている。 | 地域 911.1 抄 |
| 優秀賞 | 『樹間の絵』 (伊藤雅水//著) | 家族への想いが綴られた歌集。特に兄を詠んだものが多く、歌集名も兄から贈られた油絵「樹間」から名付けた。 | 地 域 911.1 什 |
| 優秀賞 | 『浜通りの熊野神社めぐり』 (小泉明正//著) | 著者が住む平中塩地区の鎮守神は熊野神社であることから、浜通りに点在する熊野神社 41 社の由来、例祭などについて多くの写真とともにまとめたもの。 | 地域 175 口 |
| 特別賞 | 『かもめの視線で見た津波被害の記録』(酒井英治//著) | 空撮家である著者が、震災前に撮影したいわきの美しい海岸線の風景と、震災により姿を変えたいわき市沿岸の写真を収録した空撮写真集。 | 地域 369 サ |
| 特別賞 | 『いわき発・鮫川折々紀行』 (おやけこういち//著) | 郷土史研究者である著者が、長年追いつけてきたテーマである「鮫川」。勿来方部を流れるこの鮫川とその水系流域の歴史や、そこに暮らす人々の姿が綴られている。 | 地域 291 オ |

◆平成 25 年度 (第 7 回)

【いわき民報掲載日:平成 26 年 6 月 26 日】

| | | | |
|------|--|---|---------------|
| 最優秀賞 | 該当作品なし | | |
| 優秀賞 | 『磐城平藩戊辰實戦記』 | 平安会(旧磐城平藩安藤家家臣の会)発行。平成 22 年に新たに発見された磐城平藩士 16 名による戊辰戦争の記録集。 | 地 域 210.6-1 丁 |
| 優秀賞 | 『いのち —3・11 震災をのりこえて』 (そのべあきら//著) | 震災で愛する妻を失った男性を主人公にした物語。震災を経験した著者が描く、ドキュメンタリー的な価値も評価された。 | 震災 F ソ |
| 特別賞 | 『ナニヤトヤラ 五行歌集』 (大友誠三//著) | 孫や先立った妻など家族を詠んだ歌が、多数収録されている。穏やかな人柄が作品に表れた心温まる歌集。 | 地 域 911.1 什 |
| 特別賞 | 『いわき語の海へ』 (夏井芳徳//著) | 急速に消えつつあるいわきの言葉。著者は、そのことに危機感を感じている。著者の体験に基づいたいわき言葉の辞典「私のいわき語辞典」も収録。 | 地域 818 ナ |

◆平成 26 年度（第 8 回）

【いわき民報掲載日：平成 27 年 4 月 25 日】

| | | | |
|------|-----------------------------|--|------------|
| 最優秀賞 | 『農民作家 上泉秀信の生涯』 (中山雅弘//著) | 都新聞（現東京新聞）文化部長として多くの作家を育て、自らも劇作家として活躍した上泉秀信。戦後、現在のいわき市渡辺町で農業を始め、農民作家として生きたその生涯を描く。 | 地域 910.2 ㍷ |
| 優秀賞 | 『堂平』 (伊藤一泊//著) | 俳誌「ひいらぎ」などに 17 年間に渡って投句してきた作品を収録した句集。 | 地域 911.3 ㍲ |

◆平成 27 年度（第 9 回）

【いわき民報掲載日：平成 28 年 6 月 21 日】

| | | | |
|------|---------------------------|--|-------------|
| 最優秀賞 | 該当作品なし | | |
| 優秀賞 | 『磐城三藩の戊辰戦争』 (上妻又四郎//著) | 『戊辰私記』、『安藤対馬守信睦公』、『磐城平藩戊辰實戦記』、『復古記』、『復古外記』などをベースに、磐城三藩の戊辰戦争の全体像を詳述している。 | 地域 210.6-17 |
| 優秀賞 | 『福島県の道路元標』 (小泉明正//著) | 福島県内の「道路元標」（大正期の道路法によって、全国の市町村に設置された基準点を示す標石）の設置場所 401 ヲ所すべてに足を運び、所在の有無や現状を記録している。 | 地域 682 ㍲ |
| 特別賞 | 『昭和の子ども』 (国府田英二//著) | 大正、昭和、平成と激動の時代を生き抜いてきた著者の自分史。当時の時代背景や関係する人物などが、克明に記されている。 | 地域 916 ㍲ |

◆平成 28 年度（第 10 回）

【いわき民報掲載日：平成 29 年 2 月 23 日】

| | | | |
|------|--|--|------------|
| 最優秀賞 | 『奪われた若き命』 (山口紀美子//著) | 戦没学生の手記『さけわたつみのこえ』から戦犯刑死した学徒兵、木村久夫の存在を知った著者は、22 年に渡って遺族と交流し、さまざまな場所で取材を重ね、無実を訴えた青年の生涯を描いた。 | 地域 289㍲ |
| 優秀賞 | 『登山って最高！』 (若松俊道//著) | 80 代にして登山を趣味とし、キノコ狩り、山菜取り、水石採集、マウンテンバイク、ヨガを楽しむ作者による随筆、紀行文、川柳集。 | 地域 914.6 ㍲ |
| 特別賞 | 『灰色な青い空』 (元の生活をかえせ・原発被害いわき市民訴訟原告団//著) | 2011 年の原発事故による損害に対して、2013 年から 2016 年までの間に裁判所で訴えた、いわき市民 30 人の意見陳述書集。 | 地域 369 ㍲ |

◆平成 29 年度（第 11 回）

【いわき民報掲載日：平成 30 年 3 月 10 日】

| | | | |
|------|-------------------------------------|--|----------|
| 最優秀賞 | 『田んぼ、はじめました。』 (とびやあい//著) | イラストレーターの仕事のかたわら、自給自足の生活に憧れて始めた農業。米作りに奮闘する、著者自身の体験を描いたコミックエッセイ。 | 地域 616 ト |
| 優秀賞 | 『蒼天の風 天田愚庵の生涯』 (西島雅博//著) | 磐城平藩士として戊辰戦争を戦い、後に仏門に入った歌人の天田愚庵。その波乱万丈の生涯を描いた。 | 地域 F ㍲ |
| 特別賞 | 『福島県苔類誌』 (湯澤陽一//著) | 福島県内に生育している苔類の図鑑。著者の長年に渡る苔類調査の成果が、写真と顕微鏡で観察した詳細な構造図と共にまとめられている。 | 地域 475 ㍲ |
| 特別賞 | 『いわきの地誌』 (いわき地域学会いわきの地誌編集委員会//編) | 広域であることから、様々な顔を持ついわき市について、地理学的な観点から考察され、図や表、写真などを用いて、わかりやすくまとめられている。 | 地域 291 ㍲ |